

平成 31 年 4 月 22 日発行

こ う じ え ん

# 普及センターだより 耕耳苑

宮古農業改良普及センター

TEL : 0193-64-2220

FAX : 0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL : 0194-22-3115

FAX : 0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット <https://i-agri.net/>

## 所長挨拶

初めまして、所長の佐藤です。新年度に私を含め 5 名の職員が転入し、岩泉サブセンターと合わせて 20 名体制で普及活動を開始しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

農業者及び関係機関・団体の皆様におかれましては、8 年前の東日本大震災津波、平成 28 年の台風 10 号の気象災害からの復旧・復興にこれまでご尽力されてきましたことに敬意を表します。

県では、2019 年から 2028 年までの政策推進の柱となる「いわて県民計画『長期ビジョン』及び『第 1 期アクションプラン』」を策定しました。また、各広域振興圏を単位とする「地域振興プラン（2019～2022）」を策定したところです。一方、農業改良普及センターにおいては、全県で組織の見直しを行うとともに、新たな普及指導計画を策定しています。以下に新たな組織体制と活動テーマを紹介します。

### □ 組織体制（20 名）

宮古農業改良普及センター所長

地域指導課（課長含め 5 名）

産地育成課（課長含め 7 名）

岩泉普及サブセンター所長

地域指導チーム（3 名）

産地育成チーム（3 名）

○ 上記の体制の中に作目別専門チームとして、作物、園芸、畜産、経営の 4 つのチーム体制をとります。

### □ 重点活動テーマ

- 1 地域農業を担う経営体の育成に取り組めます
- 2 新規就農者の確保・育成に取り組めます
- 3 地域特性を生かした農畜産物の産地力の向上促進に取り組めます
- 4 特色ある農畜産物を生かした 6 次産業化や集落活動を支援します

当地域の農業者の方々の農業所得向上に向け、関係機関・団体をはじめ、生産組織や地域リーダーの方々などと連携して課題解決に取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。最後に皆様の益々のご健勝を祈念してあいさつとさせていただきます。

宮古農業改良普及センター 所長 佐藤 正一



# 平成31年度 転入者の紹介

氏名 さとう しょういち 佐藤 正一

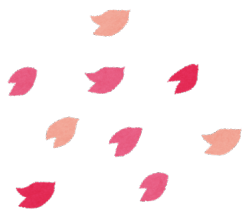
担当 所長

前所属 二戸農業改良普及センター 技術主幹兼普及課長

出身地 滝沢市

趣味 とくにありませんが、時間があれば勉強しようと考えています

抱負 将来を見据えて、そのために今何をすればよいかを提案できるように取組んでいきたいと考えています。



氏名 ふじさわ たくみ 藤沢 巧

担当 技術主幹兼地域指導課長

前所属 岩手県立農業大学校 准教授

出身地 盛岡市

趣味 ドライブ、F1テレビ観戦、フルーツ柄の手拭い収集

抱負 皆さまのお役に立つよう、広い宮古地域を隈なくお邪魔させていただきます。



氏名 ささき たかのり 佐々木 貴法

担当 技師（産地育成課）

前所属 県庁・農業振興課 技師

出身地 滝沢市

趣味 写真撮影、溪流釣り、旅行

抱負 現地の着任は初めてでわからない事ばかりですが、精一杯頑張りますので、ご指導よろしくお願ひします。





# 岩泉普及サブセンター

氏名 たのしま よしと 田野島 義人

担当 所長

前所属 盛岡農業改良普及センター 普及課長

出身地 京都府福知山市

趣味 釣り

抱負 21年ぶり2回目の岩泉勤務になります。関係機関・団体の皆様と連携し、当地域の農業振興のお役に立てるよう頑張ります。



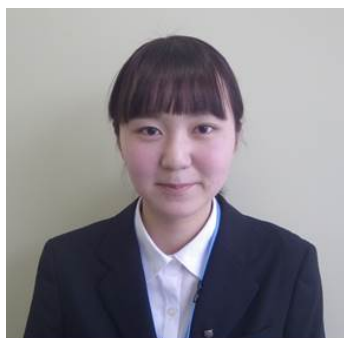
氏名 やまもと まゆ 山本 麻由

担当 技師（産地育成チーム、新採用）

出身地 矢巾町

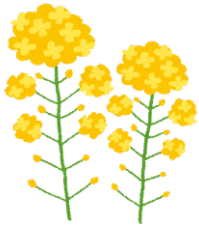
趣味 書道

抱負 分からないことばかりですが、先輩方にご指導いただきながら、様々なことを学び、吸収していきたいと思えます。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



お こ め き ょ う だ い





# 転出者の紹介



氏名（所属）	転出先
畠山 俊行（所長）	一関農業改良普及センター
本田 孝子（技術主幹兼普及課長）	中部農業改良普及センター
川村 浩美（技術主幹兼普及課長）	岩手県立農業大学校
加藤 満康（岩泉・所長）	奥州農業改良普及センター
小崎 洋平（耕畜連携チーム）	県庁・流通課
高木 泰昌（岩泉・畜産振興支援チーム）	県庁・流通課

## お世話になりました！



### 農薬は適正に使用してください！

- 1 農薬は、鍵のかかる保管庫に保管します。
- 2 使用前に、必ず農薬ラベル記載の登録内容や使用上の注意などを確認します。
- 3 使用時は、マスク・合羽・手袋などを着用します。
- 4 使用後は、散布機具をしっかりと洗浄します。
- 5 使用記録を残して家族で共有します。

（三浦）

### 春の農作業安全月間が始まりました！

春の訪れとともに、農作業が忙しい時期となりました。

県内では昨春、トラクターの横転や野焼きなど4件の農作業死亡事故が発生しました。

県では、4月15日から6月15日までを「春の農作業安全月間」とし、農作業事故防止を呼びかけています。

2019年度のスローガンは、「夕暮れ時 もう少しと思う心に ブレーキを」です。

慣れた作業でも忙しさや不注意で事故につながる可能性があります。

心に余裕を持って農作業を行いましょう。

（砂子田）